

名前 コブシ(辛夷)

場所 ものづくり工房

ものづくり工房の前のコブシです。一年おきに花数が多い年と少ない年があり、今年は少ない年のようです。

コブシは日本原産のモクレンの仲間で学名も *Magnolia Kobus* と言います。マгноリアはモクレン族、コブスは和名のコブシから付けられた名前です。葉が出る前の枝に純白の花が風に翻る姿はハクモクレンによく似ており、遠くから見ると区別が付きにくいのですが、モクレンの花が半開なのに対し、コブシの花は平開し花の下に小さな葉が1枚あります。



名前 ドウダンツツジ(灯台躑躅、満天星躑躅)

場所 土・どろんこ館



「ドウダン」はトウダイ(灯台)がなまった名前と言われ、一か所から複数に分かれる枝の形が結び灯台(三本の丸棒を結んで上に皿を載せた燭台のこと)に似ているためと言われます。

「満天星」の字は見た通り小さな白い花が一斉に咲いた状態を満天に散る星に例えたものと思われま。

ドウダンは秋の真紅の紅葉も美しいのでお楽しみに。

名前 ベニバナトキワマンサク(紅花常盤万作)

場所 第一駐車場、第二駐車場



第一駐車場から土・どろんこ館に登る坂道の途中にひととき目立つ桃紅色の花です。

ひとつの花は4~5枚の細いリボンのような花びらでできており、この花がビッシリ集まって美しいピンクの樹冠を作っています。

名前 トキワマンサク(常盤万作)

場所 第一駐車場、トイレパーク

こちらは白花種の常盤万作です。葉のいろが薄い黄緑色なので、花が目立たずうっかりすると通り過ぎてしまいます。

第一駐車場の坂道では紅花常盤万作のすぐ下にあります。トイレパークでは生垣として植えられています。



名前 エノキ(榎)

場所 窯のある広場、第二駐車場

エノキの大木にも小さな小さな花が咲きました。枝先には小さな葉芽が付いていますが花と同じ淡黄色で遠目には区別が付きません。

エノキは大木となりやすく江戸時代から一里塚などの目印として各地に植えられました。窯のある広場の大榎もこのミュージアムの象徴となる大木です。樹冠が自然に丸くなり美しい形になるのも多くの人にこの樹が愛されてきた理由かと思われます。



名前 シロヤマブキ(白山吹)

場所 建築陶器のはじまり館

ヤマブキは5弁もしくは八重咲の黄色い花を付けますが、シロヤマブキは真っ白な4弁花です。花びらには細かなヒダがありいかにも柔らかそうです。花の隣の黒い実は昨年咲いたシロヤマブキの実です。

ヤマブキもシロヤマブキも同じバラ科ですが、属が異なります。



番外編 ツバメのトイレ

場所 世界のタイル博物館、土・どろんこ館



今年もミュージアムにツバメがやってきました。巣の下には陶器製のツバメのトイレが置かれています。